

ほけんだより

鶴城中学校
保健室 No.10

H29.9.29 (金)



舞鶴台に栗拾いに行く子ども達の姿に、鶴城ならではの自然の豊かさを感じる毎日です。さて、ひと雨ごとに、肌寒さを感じる季節となりましたが、日中の日差しは強く汗ばむほどです。気温の変化についていけず、かぜ気味で保健室に来る人もいます。体調管理をしっかりしていきましょう。

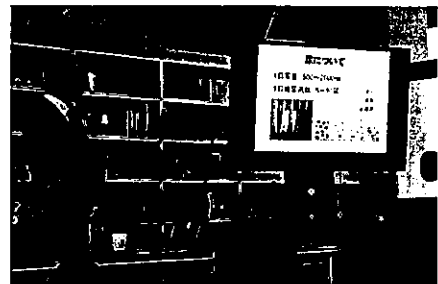
学校保健委員会・性教育講演会がありました

9月21日、合志市の池田クリニック院長 池田稔先生をお迎えして、学校保健委員会を開催しました。「思春期のこころと体～泌尿器科的な性的話～」の演題で、講演をしていただきました。

思春期の体の変化の他に、尿や男性の体の悩み等、普段聞くことのできない専門的なお話を聞くことができました。また、大人になるということは、「TPOを考えて行動できるようになること、感情（気持ち）をコントロールできること」という話の中で、これまで仕方なく守っていた校則は、自分を守るためのものだと知り、考え方が変わった人も多かったようです。

その他に、「世の中にはいろいろな人がいて、いつか誰かを助けるために、みんなは生きている。」「性感染症・性的接触は、女子の方が、危険が大きい。パートナーを守るためにどうすればいいのかよく考える。」「いろいろな性の在り方があり、そんな人たちが一番苦しむのは、中高生時代。相談をされたら話を最後まで聞いてほしい。」「性の基本は、自分を大切にし、自分を守ること。自分の気持ちを偽らないこと。そして、相手を思いやること。」など、心に残るたくさんのお話をしていただき、性について多角的にしっかり考えることのできた1時間でした。

感想を載せていますので、もう一度講話の内容を思い出しながら、おうちの人と一緒に読んで下さい。安全保体給食部の保護者の方にも、参加していただきましたので、保護者の感想も載せています。なお、保護者の皆様には、お忙しい中、性教育についてのアンケートを提出していただき、ありがとうございました。今後の性教育に活かしていきたいと思えます。結果については、後日保健だより等でお知らせいたします。



自分で自分の体を守ることが一番大切だとわかりました。プライベートゾーンの話では、軽い気持ちでしたことがいじめに繋がるんだと思えました。中村中さんの「友達の詩」を聞いて人それぞれの思いでしていることを、からかうのはいけないと学びました。1年

男の子の体も、女の子の体もしっかり知ることができました。これからは、もっと友達のこと大切にしていこうと思いました。そして、将来自分が性について困ったときに、誰かに相談できる人を見つけたいと思いました。今日の講話で一番大切にしたいことは、自分の体は自分で守るということです。2年

今日の話で今まで恥ずかしくて聞けなかったことを、きちんと知ることができました。1人1人が違っていいこと、人に合わせなくていいんだと思えました。これから自分の性と、向き合っていかなければなりません。その時はきちんと良いか悪いか自分自身で判断し、迷惑をかけないようにしようと思いました。これからは、正しい知識で自分を守り、場合によっては正しい知識で誰かを守っていききたいです。2年

1人1人得意なことは違い、好きなものも違うので、いろんなものに挑戦をして、自分の得意なものを1つでも見つけたい。自分は何にもできないからダメだとは思わずに、新しいことにチャレンジしていきたい。2年

自分の体を大切にし、また、相手のこともしっかり考えることが大切だと思えました。大人の体になっているかどうか、気づききっかけにもなったし、性というのは性行為だけというイメージを変え、命を繋ぐ大切なものだと考えることができました。3年

「人それぞれの個性は、人を救うことができる。」という言葉がとても心に残りました。また、「自分の体は自分で守らないといけない。」と実感することができ、大変ためになる言葉をたくさん教えていただきました。最後に聴いた曲。正直、とても切なくなりました。「世界にはいろいろな人がいるんだな、困っている人がいたら、話を聞いて、助ける手をさしのべたいな。」と強く感じました。3年

普段家では性のことについて話すことはあまりありませんので、子どもと同じ話を聞けたのは良かったと思います。これから大きくなるにつれ、男女交際などいろいろな性的問題が出てくると思います。TPOが守れる大人になってほしいと思います。(保護者)

中学生は性について興味を持ち始める年代であり、体も少しずつ大人に近づいてくる段階ということもあって、デリケートな内容をしっかり話して下さったことが良かったと思えました。たくさんの情報にあふれている中、自分自身で見極めてほしいです。(保護者)